

和歌山の提言

教育学部 許 玉霖 10123002

私は4月2日和歌山に来て、今までも四ヶ月になった。毎日ここに楽しみ、たくさん事も習った。先生や学生やボランティアから助けをもらいいただきまして、本とにありがとうございます。

和歌山はとても美し町だ。海に面して、山に抱きしめて、住む安いところだと思います。海のお影で、いい天気を持って、夏が暑いすぎない。私にとって冬はまだ体験しないが、しかし先輩から聞いて、和歌山がやはり住みやすいところだと思います。

しかし、この住みやすいところは「精力」や「人気」が足りないだと思う。ここにいるもう四ヶ月なって、しかしもし小学生や中学生は学に行かないとすれば、町での若者は本とに珍しいだ。一番は五十歳ぐらい人で、または年上者だ。この問題は日本の問題よりも、和歌山の問題のほうが強いと思う。しかし大阪はこの問題で困らせることがない。若者のパラダイス、よりにぎやかな町、より早い生活リズム。だから和歌山をみて、繁栄の日本と全然似ていない。

「精力が少ない」のせいで、いろんな問題が引きます。例えば、ショッピングモールは夜早い占めます。中国の小さい都市でもそんなことはなくて、普通で夜十一時ぐらい閉めます。それは、夜残業をした人やまたは暑い天気をよける人達のためだ。しかし、和歌山で、もし夜でご飯を食べたらショッピングをしたいとすれば全然できないです。

また、物価の問題です。和歌山の物価は大阪よりもたかいです。大阪でショッピングをした後電車で和歌山へ帰る人も少なくない。例えば、僕は余暇で軍艦モードを使うことが好きです。和歌山市で最大な玩具店は国体道路だと思います。あそこで種類は少なく、値段東京や大阪の玩具店より高いです。交通代も物価の高さを体現している。若しバスで学校に行くとすれば、まず自転車で市役所に行って、330円で和大に行きます。それはなぜ会館に住んでいる人はこんな暑い天気でまた自転車で学校に行くことの原因だ。

だからそれにたいして、以下の意見を言いたい。

第一 和歌山市は人口を増すためなにかをやります。あるシティを発展するのが、やはり若者が主要な力だと思います。若者のため、もっといい就業条件を作ります。

第二 もっといいショッピング環境をつくれます。営業時間を長くして、規模を大きくして、市民のためよりよいショッピング環境をつくれます。また、商店街などの町を作って、CBDを集まって、便利なところを作ります。

第三 和歌山の歴史に関するものを利用して、特徴をもって観光地を開発する。観光とともに、ほかの部分を開展します。

こり以上は和歌山に対して提言です。「第二故郷」の和歌山にしてもっといいところになることがほしいです。



